

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 681

事業名	いきいき農業体験事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	水田農業構造対策事業費・5目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	ふやさんか__食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	安全でおいしい地元の食材を、市民や来訪者が地元で消費できる仕組みをつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市内5小学校の児童(4・5年生)		対象人数(人) 191
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 小学校の児童が農作業体験や調理実習等を通じて、食や「農」への理解を深め、「農」に親しみを持つことを目的とし、併せて米の消費拡大へのPR及び遊休農地の解消にも資する。		
		実施内容 (何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 市内5校(広田小学校・松帆小学校・湊小学校・神代小学校・北阿万小学校/)において、「体験農園」を設置し、農作業体験(播苗・田植・除草稲刈り・収穫・脱穀)を実施する。また、「体験農園」で収穫した収穫物を活用した調理実習等を実施する。		
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 米の消費拡大事業の一環として、本事業で行う体験等が、児童の学習課程の中で効果的に実施されるよう県単補助事業として実施されてきた。		
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 () <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から			

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	実施小学校数					指標単位
							校
	指標説明 (指標算出 方法等)	体験農園での農業体験・調理実習実施校					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	5	5	4	5	9	
	実績値	5	5	4			
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
目標値設定 の考え方	実施希望小学校数						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	750	750	359	500	810	
	農作業体験農園設置委託料	500	500	280	400	630	
	調理実習材料代	250	250	79	100	180	
	財源 (千円)						
	国						
	県	375	375				
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	375	375	359	500	810	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
	事業量2(事業に要した人数)						
	年間経費([A]+[B])	375	375	359	500	810	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	1,963.4	1,963.4	1,879.6	2,617.8	4,240.8		
経費に関する 補足説明	平成19年度までは県補助事業であったが、平成20年度から県補助金が廃止され、市単独事業として実施している。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 実施希望のあった5学校全てにおいて、農業体験、調理実習をすることが出来た。					(自己評価) 5点評価
						4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 現在の学校においては、食育活動は、欠くことの出来ない事業です。同事業は、水稻の育成の中で、田植え・稲刈り・料理教室と年間を通じて、地域の食を考えるという意味で十分な成果を得られていると思います。					(自己評価) 5点評価
効率性	事業単価	円	1,963.4	1,963.4	1,879.6	2,617.8
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 体験農園設置委託料は、農園の管理、体験時の指導等を含まれているため減額は難しい。					(自己評価) 5点評価
						5
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市総合計画で、5年後10校、10年後16校の目標値が明記されている。稲作体験により農業の大切さを学ぶことが必要である。					(自己評価) 5点評価
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 農作物を栽培する楽しみを学び、自分たちで栽培した作物で調理実習をすることで、食への関心、強いては、米の消費拡大に繋がっている。					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>食育と農業作業体験を通じて、農業が自然環境に大きく関与することや農作業の楽しみ等を体感してもらえよう、総合計画の数値目標に向けて実施校の増加めざす。</p>	同左。
(現状維持以外の改善方法)	実施校を4校から9校に増やす。	同左。
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>地元小学生に農作業の楽しみ等を体感してもらうことで、将来的に農業後継者やUターン就農してもらえることが期待できる。</p>	同左。
	<p>コスト面</p> <p>拡充に伴い予算の増額が必要である。</p>	同左。
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>食や「農」への理解を深める機会が失われる。</p>	